



# たじみ監督署 安全衛生だより

## 平成23年の労働災害発生状況

### ～ 5月の死傷病報告受付、急増！ ～

平成23年5月末における全産業における休業4日以上労働災害発生状況は91件で、前年に比べ7件の減少となっておりますが、5月分受付だけで35件の死傷病報告（休業4日以上）の提出があり、急増しています。

主な業種別の発生状況は、機械・金属製造業、運送業が増加傾向にあり、依然として、転倒、はさまれ・巻き込まれ災害が多くなっています。

このような状況の中、本年3月11日に発生した東日本大震災における経済活動への影響による労働災害の動向にも注視が必要となっており、夏季特有の労働災害である「熱中症（ ）」も懸念される時期を迎えますので、全国安全週間（7月1日から7日、準備期間6月1日から30日）に引き続き、夏季無災害運動（7月1日から8月末まで）を展開することとしています。

（ ）

昨年は記録的な猛暑により、職場における熱中症による死亡者数が熱中症と分類して統計を取り始めた平成9年以降、最も多い47人（全国）となっております。

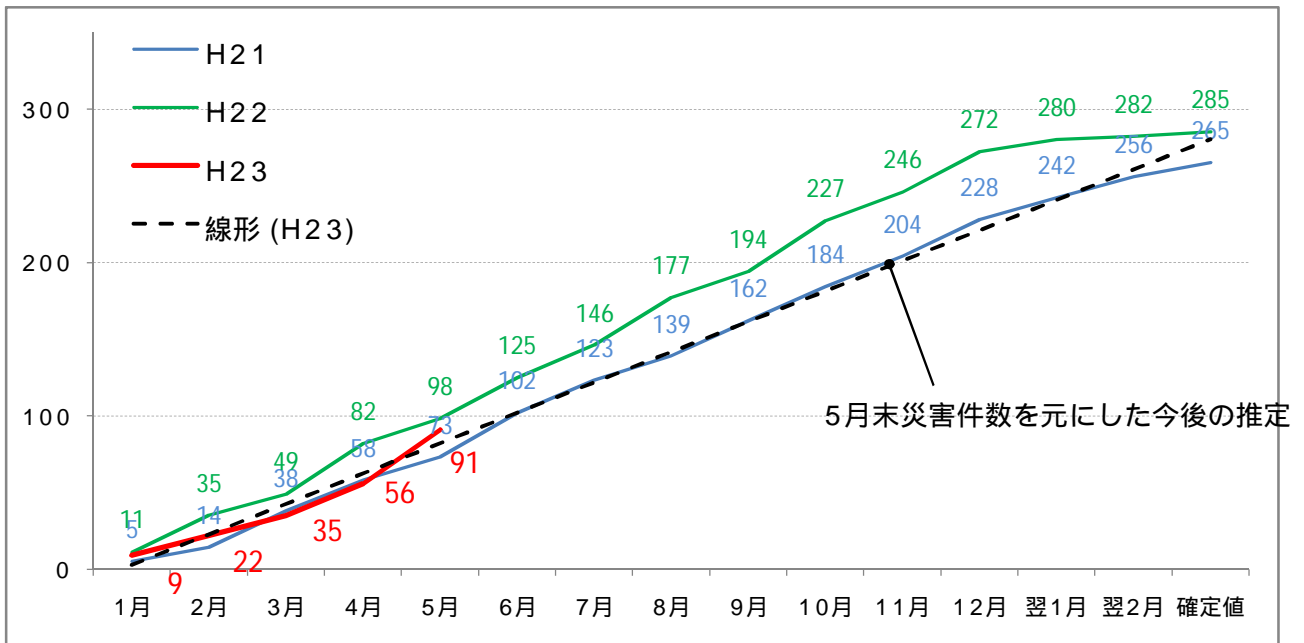
### 業種別労働災害発生状況（多治見監督署管内）

	平成23年	平成22年	対前年 増減数	対前年 増減率	構成比	(参考) 平成21年
全 産 業	91	98 (4)	-7	-7.1%	100%	73 (1)
製 造 業	34	37 (2)	-3	-8.1%	37.4%	31 (1)
うちパルプ・紙等		6 (1)	-6	-100.0%		4
うち窯業土石	11	14	-3	-21.4%	12.1%	17 (1)
うち機械金属	12	8 (1)	4	50.0%	13.2%	7
建 設 業	4	10 (2)	-6	-60.0%	4.4%	8
運 輸 業	12	7	5	71.4%	13.2%	6
卸 ・ 小 売 業	7	12	-5	-41.7%	7.7%	9
通 信 業	5	5			5.5%	1
ゴ ル フ 場	11	7	4	57.1%	12.1%	8
上 記 以 外	18	20	-2	-10.0%	19.8%	10

本統計は、平成23年5末日までに労働者死傷病報告により報告のあった休業4日以上死傷災害を集計したもので、かっこ内の数は死亡災害を内数で示したものです。

構成比は小数第2位を四捨五入しているため、各業種の合計が100%にならない場合があります。

# 災害発生状況の月別推移



## 平成22年 災害発生状況（事故の型別）

